

松下 玲子

都議会議員
まつした れいこ



【松下玲子プロフィール】1970年生まれ。実践女子大学卒業後、民間企業で8年間の勤務後、早稲田大学大学院修了、(財)松下政経塾での研修を経て、2005年都議初当選。現在、2期目。都議会厚生委員会委員長、都議会民主党生活部会会長。家族は夫(会社員)と子ども。

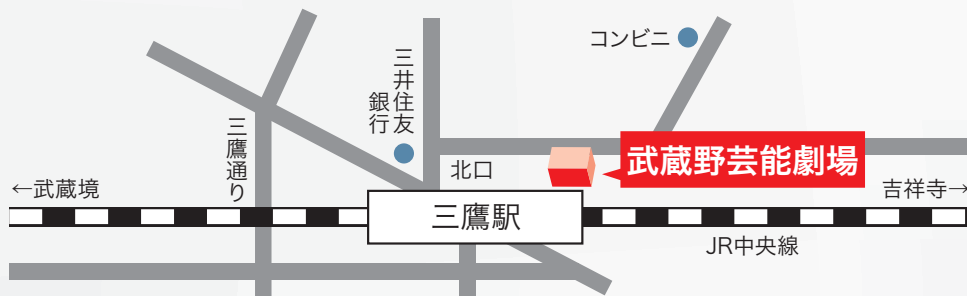
都政報告会 **開催**

どなたでもお気軽にご参加ください

12月16日(金) 15:00~16:30
[開場時間 14:30]

会場/武蔵野芸能劇場 小劇場 武蔵野市中町1-15-10

<http://www.musashino-culture.or.jp/geinou/>



【ゲスト】大河原雅子 参議院議員

*国会会期延長の場合、予告無く変更の場合もございます。ご了承ください。

都政報告会 テーマ

Point 1 放射性物質の影響は？

- ▶ 3・11の原発事故によって食の安全が脅かされています。都の食品検査体制はどうなっているか？安全性は確保されているか？都議会での質疑から明らかになったこと等、内部被曝を防ぐための食品の安全対策の課題に迫ります。

Point 2 TPP、ハッ場ダムはどうなる？

- ▶ 民主党政権の政策の行方、都議会でもTPPやハッ場ダムに関して議論が行われています。都議会での議論を中心に、両課題に迫ります。

Point 3 東京都の 来年度の予算はどうなる？

- ▶ 平成24年度東京都予算原案が発表されました。来年度の予算案の特長や今後のスケジュール等ご報告致します。皆さまからの予算案に対してのご意見ご要望を伺います。

Point 4 その他意見交換

- ▶ 会場の皆さまのご関心を伺って、お話ししたいと思います。皆さまからのご意見・ご要望など直接伺い、今後の調査・政策立案活動に活かして参りたいと存じます。

Pick Up 01 食品検査体制を強化 保護者の不安解消に努めよ!

福島第一原発事故による影響で、農林水産物から放射性物質が検出されました。暫定規制値を超えた物は出荷停止となっていますが、給食に規制値を超えた牛肉が使用されたことが判明しました。

そこで、食品の安全に対する信頼が揺らぐ中、安全な食品の流通・消費のためにも、食品検査体制の強化が必要であると、都の見解を質しました。その後、11月8日からは都内流通食品の放射性物質モニタリング検査が開始しています。

また、学校・幼稚園・保育所等の給食については、食材の放射能検査等を実施する区市町村への支援や、食材産地の公開、栄養士等への必要な研修の実施などを求めました。

しかし残念な事に、都教育庁は「教職員に対する正しい知識の付与など、適切な情報提供に努める」との答弁に留まっています。

都議会民主党は放射線対策プロジェクトチームを設置し、引き続き、都民の皆さまの放射性物質に対する不安解消に向けて活動して参ります。

Pick Up 02 東京は低炭素型 高度防災都市を目指せ

これからの東京は、先の東日本大震災の経験も踏まえつつ、低炭素型で、かつ高度な防災都市づくりを目指すべきと考えています。そのために、地域分散型エネルギーシステムの導入促進、再生可能エネルギーや未利用エネルギーも含めた電気及び熱エネルギーのベストミックス、全体最適利用を推進することが求められます。

松下玲子の一般質問でも、埋蔵電力を含めた電力の受給見込みを早急に示すこと、エネルギー政策に対する明確なビジョンを早急に示し、他県に依存してきた電力というエネルギーを地産地消へ、さらには地域分散型へと転換していくべきと提言しました。

石原知事は、環境負荷の少ない百万キロワット級の高効率の天然ガス発電所の整備に向けて検討を進めていること、六本木ヒルズにおいて新しい範を示した、地域分散型の発電の導入に向けた具体的な検討を新たに開始していることに触れ、「こうした実践的な行動により、電力の安定的確保に向けた都独自の取り組みを進め、我が国における環境エネルギー政策を牽引していく」と述べています。



本会議一般質問 質疑背景

◇さる9月29日、一般質問のトップに松下玲子が立ちました。エネルギー自立都市東京を目指すべき立場からのエネルギー政策について、災害時にも有効な地下水の活用について、八ツ場ダムについて質問を行いました。詳しくは都議会ホームページの質疑映像や会議録を是非ご覧いただきたいと存じます。また、松下事務所では質疑映像のDVD貸出も行っていますので、必要な方は事務所までご連絡下さい。

質問作成にあたっては、3月の東日本大震災から半年を経て、この間には集中豪雨や台風の被害も相次ぎ、地震や台風といった天災の脅威に原発やダムは有効なのかどうか、真剣に考えざるを得ませんでした。福島原発の事故と台風被害のあった奈良のダム事業や、まさに国において建設の是非が問われている八ツ場ダムを検証すると、原発とダムの共通点が見つかりました。どちらも安全性をチェックすべき部門が、事業を推進する同じ省内に設けら

れていること、事業の問題を指摘し警鐘を鳴らす市民団体や専門家の意見が取り入れられていないことです。

多くの尊い命を犠牲にした未曾有の大震災から、私たちは教訓を学ばなければならぬはずで、東京都が震災を教訓として、エネルギー政策やダムに頼らない治水利水政策を実行するようにと願いを込めて質問を作成しました。

八ツ場ダムについての質問の冒頭、過去に5回質問を行いましたと言った途端、質問する私の斜め後ろに座っている石原知事から罵声が飛んできました。「5回現場に行ったのか!!」といきなり野次で怒鳴られました。知事答弁がない時の石原知事は、質問すら聞いていないようにも見えるのですが、八ツ場ダムには相当関心がおありのようです。

福島原発事故のような歴史を決して繰り返さないために、無駄なダムという負の遺産を未来に残さないために、知事に野次られても決してひるむことなく、これからも正々堂々議会で質疑を行い、行政をチェックして参ります。



松下玲子の視点 — Viewpoint —

平成23年度第3回都議会定例会は、11日間の異例の会期延長を経て、10月18日閉会しました。本会議閉会后、新たな任期の常任委員会が始まり、私は厚生委員会委員長に就任しました。福祉保健局と病院経営本部を所管する厚生委員会の委員長として、公平公正な委員会運営に努め、都民福祉の向上を目指したいと決意を新たにしています。

定例会閉会中に厚生委員会は開かれ、医療、介護、保育、食の安全等多岐に渡る福祉保健行政について質疑が行われています。また、本会議閉会前から平成22年度各会計決算特別委員会も同時に行われ、私は都市整備局や建設局、産業労働局等の決算を審議する第三分科会に所属し、地元武蔵野市に大きく係る課題に関して質疑を行いました。商店街街路灯やアー

ケードに広告付きフラッグ掲載が可能となったこと、都市農業の積極的な推進、外環の2の無条件廃止、鉄道駅へのホームドア設置推進、地下水保全と八ツ場ダム中止等々、9月の一般質問に続き決算特別委員会でも積極的に質問と要望を行いました。

初当選以来、6年が経過し、この間都議会民主党は都議会第2会派から第1会派へと多くの仲間の議員が増えたことで、知事提出の条例改定案を否決出来たことや、議員提出した条例案が可決されるなど、知事与党ではなくとも、都民目線で政策提言したことが実現出来たことは成果であったと思います。しかし、今年になって相次ぐ同僚議員の会派離脱により都議会の勢力バランスが1人差で変わってしまい、第3回定例会では新銀行と築地の両特別委員会が廃止されてしまいました。

新銀行問題は、旧経営陣に対する裁判も継続中で、巨額の赤字を招いた原因や責任の所在も明らかになっていません。また、築地市場の移転問題は、移転先の安全性も確認されておらず、関係者の合意も得られていません。

石原都政の暴走や誤りをただすのが都議会の役割のひとつですが、こうしたチェック機能をあえて消滅させてしまう自民・公明の姿勢は、議会の自殺行為ではありません。

私たち都議会民主党は、引き続き、是々非々の立場から、石原都政を厳しくチェックしていきます。この度、都議会定数の見直しへ向けた、「都議会のあり方検討会」を設置することができました。manifestoのなかでも「都議会の定数を見直し、一票の格差を是正します」と掲げており、今回の検討会でも、都議定数の見直しはもとより、通年会期など議会機能の強化、開かれた都議会、議会運営での税金の使われ方など、議会改革に徹底的に取り組んでいく決意です。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name

都議会民主党武蔵野支部 都議会議員

連絡先

松下 玲子 事務所

〒180-0006 武蔵野市中町1-3-2 ハウスプランニングビル402
TEL.0422-50-0696 FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name

